

平成29年度 事業報告書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

学校法人 滋賀学園

学校法人滋賀学園 平成29年度 事業報告書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

1 法人の概要

1 建学の精神

本学園の建学の精神は、国際的視野に立ちながら、将来ますます複雑多様化する未来社会に対応していくことができるように、広く一般教養を高め、各自の個性を尊重し、情緒豊かな人間性を育み、人間愛に満ち、自立心に富んだ、有為の人間を育成するものであり、未来の地域社会を切り拓く創意と意欲を持った人材の育成を目指すものである。

2 学校法人の沿革

昭和8年1月	創設者森はなが和服裁縫研究所開設(八日市市浜野町)
昭和30年11月	滋賀県八日市市市辺町1932番地に、八日市和洋女子専門学院を開校
昭和42年4月	校名を八日市女子学園と改め、滋賀県八日市市野々宮町2番30号に校舎を移転
昭和44年10月	準学校法人 八日市女子学園を設立 初代理事長に森はなが就任
昭和46年2月	文部省指定技能連携校として認可
昭和51年4月	専修学校として認可、校名を八日市高等女子専門学校(高等課程)及び八日市女子専門学校(専門課程)と改称
昭和58年11月	学校法人 八日市女子学園を設立
昭和59年4月	滋賀県八日市市建部北町520番地の1に、八日市女子高等学校(全日制 被服科)を開校
昭和62年3月	文部省指定技能連携校を廃止
昭和62年4月	八日市高等女子専門学校(高等課程)を廃校
昭和62年4月	八日市女子高等学校に、全日制課程、教養科を設置
平成元年12月	滋賀文化短期大学 生活文化学科 設置認可
平成2年3月	八日市女子専門学校(専門課程)を廃校
平成2年4月	八日市女子高等学校に、全日制課程 普通科を設置
平成2年4月	滋賀県八日市市布施町29番地に、滋賀文化短期大学 生活文化学科を開学
平成5年12月	滋賀文化短期大学 人間福祉学科 介護福祉専攻・人間福祉専攻、設置認可
平成6年3月	滋賀文化短期大学 人間福祉学科 介護福祉専攻、介護福祉士養成施設として指定(厚生省)
平成6年4月	滋賀文化短期大学に、人間福祉学科 介護福祉専攻・人間福祉専攻を開設
平成6年4月	八日市女子高等学校 教養科を情報教養科に変更
平成8年4月	第2代理事長に森美和子が就任
平成8年4月	八日市女子高等学校 普通科に福祉コースを開設
平成8年4月	滋賀文化短期大学 人間福祉学科 人間福祉専攻 収容定員増
平成9年4月	学校法人名称を八日市女子学園から滋賀学園に変更
平成9年4月	滋賀文化短期大学 男女共学制移行
平成9年4月	滋賀文化短期大学 人間福祉学科 介護福祉専攻 収容定員増
平成9年12月	滋賀文化短期大学 人間福祉学科 児童福祉専攻 設置認可
平成10年3月	滋賀文化短期大学 人間福祉学科 児童福祉専攻、保母養成施設として指定(厚生省)

平成10年 4月	滋賀文化短期大学 人間福祉学科 児童福祉専攻を開設
平成11年 4月	八日市女子高等学校を滋賀学園高等学校に改称し、男女共学制移行
平成13年 8月	滋賀学園高等学校 被服科・情報教養科を廃止
平成14年11月	滋賀学園中学校 設置認可
平成15年 4月	滋賀県八日市市建部北町520番地の1に、滋賀学園中学校を開校
平成19年 4月	滋賀文化短期大学 生活文化学科 収容定員減、人間福祉学科 人間福祉専攻 収容定員減、人間福祉学科 児童福祉専攻 収容定員増
平成20年10月	びわこ学院大学教育福祉学部 設置認可
平成21年 4月	滋賀県東近江市布施町29番地に、びわこ学院大学 教育福祉学部を開学
平成21年 4月	滋賀文化短期大学をびわこ学院大学短期大学部に改称し、ライフデザイン学科を設置
平成23年 5月	びわこ学院大学短期大学部 生活文化学科・人間福祉学科を廃止
平成25年 3月	びわこ学院大学附属幼稚園 設置認可
平成25年 3月	びわこ学院大学附属保育園 設置認可
平成25年 3月	びわこ学院大学附属こども園あっぷる 認定こども園として認定
平成25年 4月	滋賀県東近江市布引台一丁目138番1に、びわこ学院大学附属幼稚園を開園
平成25年 4月	滋賀県東近江市布引台一丁目138番1に、びわこ学院大学附属保育園を開園
平成25年 4月	滋賀県東近江市布引台一丁目138番1に、びわこ学院大学附属こども園あっぷるを開園
平成26年 4月	びわこ学院大学教育福祉学部に、スポーツ教育学科を開設

3 設置する学校・学部・学科・保育所等

(平成29年5月1日現在)

設置する学校等	学 部	学 科	開設年月	摘 要
びわこ学院大学	教育福祉学部	子ども学科	平成21年4月	
		スポーツ教育学科	平成26年4月	
びわこ学院大学 短期大学部		ライフデザイン学科	平成21年4月	
滋賀学園高等学校		普通科	昭和59年4月	
滋賀学園中学校			平成15年4月	
びわこ学院大学 附属こども園 あっぷる			平成25年4月	

4 学部・学科等の定員、学生・生徒・園児数の状況

(平成29年5月1日現在)

(単位：人)

学 校 名	学部・学科等	入 学 定員数	収 容 定員数	現員数	摘 要
びわこ学院大学	教育福祉学部 子ども学科	80 3年次編入学定員 10	340	298	平成26年度開 設
	スポーツ教育学科	40 3年次編入学定員 5	170	123	
	計	120 3年次編入学定員 15	510	421	
びわこ学院大学 短期大学部	ライフデザイン学科	80	160	138	
滋賀学園高等学校	普通科	310 (外部募集240) (内部進学 70)	930	593	
滋賀学園中学校		70	210	83	
びわこ学院大学 附属こども園 あっぷる			80	91	

5 役員概要

(平成30年3月31日現在)

定員数 理事6～8名、監事2名

区 分	氏 名	専任 条項	常勤・非 常勤の別
理事長	森 美和子	5 - 2	常 勤
理 事	賀川 昌明	6-1-1	常 勤
理 事	青木 靖夫	6-1-2	常 勤
理 事	森 美和子	6-1-3	常 勤
理 事	森 亘	6-1-3	常 勤
理 事	鈴木 武夫	6-1-3	非 常 勤
理 事	中村 功一	6-1-3	非 常 勤
理 事	沖田 行司	6-1-4	非 常 勤
理 事	竹脇 義成	6-1-4	非 常 勤
監 事	森谷 伊三男	7 - 1	非 常 勤
監 事	山田 善造	7 - 1	非 常 勤

役員改選

寄附行為第6条第1項第2号選任理事 1名辞任 安居 長敏 《平成29年3月31日付》

寄附行為第6条第1項第2号選任理事 1名就任 青木 靖夫 《平成29年4月 1日付》

6 評議員の概要（平成30年3月31日現在）

定員数 13～17名

氏名	専任条項
賀川 昌明	24-1-1
青木 靖夫	24-1-2
森 亘	24-1-3
新屋 久幸	24-1-3
森 耀一	24-1-3
森 美幸	24-1-3
山 和美	24-1-4
塚本 美幸	24-1-4
沖田 行司	24-1-5
竹脇 義成	24-1-5
森 美和子	24-1-6
鈴木 武夫	24-1-6
中村 功一	24-1-6
中澤 明	24-1-6
岩本 光恵	24-1-6
清水 忠和	24-1-6
小嶋 太郎	24-1-6

評議員改選

寄附行為第24条第1項第2号選任評議員 1名辞任 安居 長敏《平成29年3月31日付》

寄附行為第24条第1項第2号選任評議員 1名就任 青木 靖夫《平成29年4月 1日付》

7 教職員の概要

（平成29年5月1日現在）

（単位：人）

区分		法人本部	びわこ学院大学	びわこ学院大学短期大学部	滋賀学園高等学校	滋賀学園中学校	びわこ学院大学附属こども園あつぷる	計
教員	本務	—	28	9	42	12	18	109
	兼務	—	64	24	6	0	0	94
職員	本務	3	11	4	3	0	0	21
	兼務	1	9	5	6	2	0	23

2 学園の法人会議及び監査について

◇法人の会議等 〈理事会・評議員会〉

年 月	会議区分	議 題 等
平成29年5月27日	評議員会	1. 学校法人滋賀学園 平成28年度事業報告に関する件 2. 学校法人滋賀学園 平成28年度決算に関する件 3. 学校法人滋賀学園 平成28年度監査に関する件 4. 学校法人滋賀学園 平成29年度第1次補正予算(案)に関する件 5. 学校法人滋賀学園 平成29年度賞与に関する件 6. びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部 学則変更(平成30年度学費値上げ)に関する件 7. 滋賀学園中学校・滋賀学園高等学校 学則変更(平成30年度学費値上げ)に関する件 8. びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部 就職斡旋規程の変更に関する件
	理事会	1. 学校法人滋賀学園 平成28年度事業報告に関する件 2. 学校法人滋賀学園 平成28年度決算に関する件 3. 学校法人滋賀学園 平成28年度監査に関する件 4. 学校法人滋賀学園 平成29年度第1次補正予算(案)に関する件 5. 学校法人滋賀学園 平成29年度賞与に関する件 6. びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部 学則変更(平成30年度学費値上げ)に関する件 7. 滋賀学園中学校・滋賀学園高等学校 学則変更(平成30年度学費値上げ)に関する件 8. びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部 就職斡旋規程の変更に関する件
	評議員会	1. 学校法人滋賀学園 平成28年度決算について
平成29年9月16日	評議員会	1. 学校法人滋賀学園 任期満了に伴う役員ならびに評議員改選に関する件 2. びわこ学院大学 学則の一部変更に関する件 3. 滋賀学園高等学校 グラウンドの人工芝化に関する件 4. 学校法人滋賀学園 諸規程に関する件
	理事会	1. 学校法人滋賀学園 任期満了に伴う役員ならびに評議員改選に関する件 2. 学校法人滋賀学園 理事長選任に関する件 3. びわこ学院大学 学則の一部変更に関する件 4. 滋賀学園高等学校 グラウンドの人工芝化に関する件 5. 学校法人滋賀学園 諸規程に関する件
	評議員会	1. 学校法人滋賀学園 任期満了に伴う役員ならびに評議員改選について

		2. 学校法人滋賀学園 理事長選任について
平成29年12月9日	評議員会	1. 学校法人滋賀学園 平成29年度第2次補正予算(案)に関する件 2. 学校法人滋賀学園 教職員人事に関する件 3. 学校法人滋賀学園 諸規程に関する件
	理事会	1. 学校法人滋賀学園 平成29年度第2次補正予算(案)に関する件 2. 学校法人滋賀学園 教職員人事に関する件 3. 学校法人滋賀学園 諸規程に関する件
平成30年3月24日	評議員会	1. 学校法人滋賀学園 平成29年度第3次補正予算(案)に関する件 2. 学校法人滋賀学園 平成30年度事業計画(案)に関する件 3. 学校法人滋賀学園 平成30年度予算(案)に関する件 4. 学校法人滋賀学園 平成30年度教職員人事(案)に関する件 5. びわこ学院大学 学則の一部変更に関する件 6. びわこ学院大学短期大学部 学則の一部変更に関する件 7. 学校法人滋賀学園 諸規程に関する件 8. びわこ学院大学・短期大学部、滋賀学園中学・高等学校 コンピュータ入替に関する件 9. 学校法人滋賀学園 中長期ビジョン(案)に関する件
	理事会	1. 学校法人滋賀学園 平成29年度第3次補正予算(案)に関する件 2. 学校法人滋賀学園 平成30年度事業計画(案)に関する件 3. 学校法人滋賀学園 平成30年度予算(案)に関する件 4. 学校法人滋賀学園 平成30年度教職員人事(案)に関する件 5. びわこ学院大学 学則の一部変更に関する件 6. びわこ学院大学短期大学部 学則の一部変更に関する件 7. 学校法人滋賀学園 諸規程に関する件 8. びわこ学院大学・短期大学部、滋賀学園中学・高等学校 コンピュータ入替に関する件 9. 学校法人滋賀学園 中長期ビジョン(案)に関する件

◇法人の監査等

年 月	内 容
平成29年 4月	期首監査(公認会計士)
平成29年 5月	平成28年度決算監査(公認会計士)
平成29年 5月	学園監事による公認会計士からの監査状況報告聴取
平成29年 5月	学園監事による平成28年度監査
平成29年 9月	滋賀県総務部私学・大学振興課による現地調査 中間監査(公認会計士)
平成29年 12月	滋賀県健康医療福祉部健康福祉政策課による指導監査
平成30年 1月	期中監査(公認会計士)
平成30年 3月	期中監査(公認会計士)

3 事業の概要

I 主な事業の目的・計画およびその進捗状況

<びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部>

目的・計画

1. 学生定員の充足

学生募集

定員充足に向けた学生募集活動の強化

本学の認知度を高める

→プロモーションビデオ作成 (YouTube への投稿、オープンキャンパスでの利用)

広報誌・ホームページの改訂 (親しみやすい表現・インパクトのある表現)

高大連携事業の精選と実質化 (系列校・近隣校)

地域連携事業の推進 (COC+・客員教員)

2. 学生指導の充実

基礎学力養成支援講座 (業者、本学教職員)

基本的学習態度・生活態度の向上→教職員間における基本方針の再確認

進路指導→進路・就職支援センター、クラス・ゼミ担当教員による指導 (学修の記録)

目標設定、自己分析 (適性)、進路ガイダンス、就職 (教職) 支援講座

実習指導→実習・実践支援センター、実習担当教員・クラス・ゼミ担当教員による指導

実習指導連絡協議会の開催

クラス・ゼミ・卒業研究指導体制の強化

クラス指導→進路希望に応じた履修指導、進路選択へのオリエンテーション

ゼミ指導→進路選択に向けての最終指導、希望進路実現に向けての対策

卒業研究指導→選択進路に関わる研究課題の追究・分析

3. 教員就職率・就職率の向上

自己分析に基づく進路選択の早期化

入学時における基礎学力検査→一定レベルに達しない者に対する支援講座参加促進
支援講座への取り組み状況・学習成果を加味した進路指導 (1年次終了時まで)

→2年次からは各学生の希望・適性に応じたコース配属

学外実習参加希望者に対する早い段階からの働きかけ
→大学として責任を持って学生を送り出せる体制づくり

就職指導

教員・保育士、介護福祉士、公務員、一般企業等

それぞれに対応した就職対策支援講座の実施（本学教員及び東京アカデミー講師）

意欲・能力のある学生に対する特別集中指導、資格取得者に対する奨励金

4. 外部資金獲得

科研費

→申請者数の増加

特別運営交付金

→申請に要する体制整備

その他

→各種プロジェクト情報の積極的広報

進捗状況

1. 学生定員の充足

○学生定員充足状況（H30.4.2現在）

教育福祉学部	子ども学科	定員 80 名	入学者 67 名	充足率	83.7%
	スポーツ教育学科	定員 40 名	入学者 32 名	充足率	80.0%
短期大学部	ライフデザイン学科	定員 80 名	入学者 88 名	充足率	110.0%

2. 学生指導の充実

○学生指導体制の確認

○非常勤講師採用・複数教員による授業担当・外部支援講師採用の基準

→学科からの申し出に基づく関連委員会・教授会での審議

○S A制度の実施（四大生対象 9 件 18 名採用）

○学生表彰

学長裁量経費の枠内で実施（2018.3.26-27 3 件）

3. 教員就職率・就職率の向上

○就職状況（H30.5.1現在）

教育福祉学部	子ども学科	卒業生 66 名	就職希望者 66 名	就職決定者 66 名	就職決定率	100.0%
教育福祉学部	スポーツ教育学科	卒業生 16 名	就職希望者 14 名	就職決定者 14 名	就職決定率	100.0%
短期大学部	ライフデザイン学科	卒業生 55 名	就職希望者 53 名	就職決定者 53 名	就職決定率	100.0%

4. 外部資金獲得

○大学COCプラス事業→採択・継続

（滋賀県立大学が基幹校となり、本学を含む5大学が参加）

○科研費 申請件数 6 件 採択件数 新規 0 件 継続 2 件

○その他の個人申請件数 1 件 採択件数 継続 1 件

（滋賀県少子化対策学生プロジェクト事業）

○環びわこ大学・地域コンソーシアム「地域課題解決支援事業」

平成 29 年度新規 1 件（200,000 円）

平成 28 年度からの継続 1 件 (100,000 円)

5. その他、大学改革に向けての取り組み

- ライフデザイン学科児童学コース学生入学 (25 名)
- びわこ学院大学短期大学部 地域の課題解決に向けて 大学によるアイデアコンテストグランプリ受賞
- 私立大学等改革総合支援事業 (教育の質的転換)
→選定 (大学 5,883,000 円・短大 6,864,000 円)
- 私立大学等経営強化集中支援事業→不採択
- 各種会議情報の共有化 (学内 LAN による会議情報閲覧)
- 客員教員による特別講義 (宮本慎也氏 H29. 5. 31、H29. 11. 8)
- 教育実習連絡協議会の開催 (H29. 7. 12)
- I R 部会の活動 (各種規程の整理・学内 LAN での共有)

年間行事報告

(1) 入学式 4/1(土)

(2) 卒業証書学位記授与式 3/16(金)

(3) 教員免許状更新講習 12講座 5日 受講者延べ1,644名

(4) 免許法認定講習 6講座 12日 受講者延べ 507名

(5) 幼稚園教諭免許状取得特例講習 2講座 8日 受講者延べ 176名

(6) 保育士資格取得特例講習 2講座 8日 受講者延べ 62名

(7) 公開講座 5講座 4日 受講者延べ 20名

(8) 国際交流

「国際文化論」パン教授 中国湖南文理学院・常德市第一幼稚園 訪問見学
3/7(水)～3/14(水) (教職員4名・学生7名)

(9) 滋賀県立高校生徒対象大学連続講座 教育・幼保 2講座開講 受講者23名

(10) 介護実習指導者懇談会 12/16(土) 参加者32施設39名

(11) 教職支援事業

I 教職支援講座

- ・採用試験実施要項説明会

滋賀県教育委員会教職員課人事担当者を招き説明会を開催。教員を目指す学生の心構えや採用試験に向けた受験準備等について説明。参加学生 21 名

- ・滋賀の教師塾

県教育委員会事務局教職員課主催。参加学生 28 名

II 採用対策講座

- ・基礎学力養成講座

短大・大学の 1 年生を対象に、東京アカデミーと共催して国語、数学の基礎講座を開講。

4 月から 7 月にかけて 10 コマ実施。参加学生 (短大 25 名・大学 78 名 計 103 名)

- ・基礎学力養成演習 (学内)

短大・大学の 1 年生を対象に、基礎学力の補充・養成を目指して学内の講座を開講。

4 月から 12 月にかけて 18 コマ実施。参加学生 (短大 2 名、大学 12 名)

- ・試験対策スタンダード講座

短大・大学の 1 年生を対象に、東京アカデミーの採用試験対策講座を開催。

9 月から 1 月にかけて 10 コマ実施。参加学生 (短大 25 名・大学 78 名)

- ・試験対策アドバンス講座

短大・大学の2年生を対象に、東京アカデミーの一般知能（数的・判断・空間・資料）、一般知識（政治・経済）の試験対策講座を開催。5月から7月にかけて12コマ実施。参加学生89名

・採用対策スタンダード講座

大学2年生を対象に、東京アカデミーの一般教養の講座を開催。11月から1月10コマ実施。参加学生80名

・教員採用対策アドバンス講座

大学3年生の教員志望者を対象に、東京アカデミーの一般教養・教職教養科目の講座を4月から1月20コマ実施。参加学生21名

・幼保採用アドバンス講座（学内）

大学3年生の幼保希望者を対象に、10月から12月にかけて幼保採用試験に向けて、1次試験に課される面接討論や論作文など試験対策を中心に、学内の対策講座を7コマ実施。参加学生10名

・教員採用対策直前演習（学内）

大学3年生の教員志望者を対象に、2月から3月に教員採用試験に向けて、1次試験に課される集団討論や論作文などの試験対策を中心に学内の対策講座を8コマ実施。参加学生19名

・幼保採用対策直前講座（学内）

大学4年生の幼保希望者を対象に、4月から7月にかけて幼保採用試験に向けて、1次試験に課される面接討論や論作文など試験対策を中心に学内の対策講座を実施。参加学生18名

・教員採用対策直前講座（学内）

教員志望者を対象に、4月から7月にかけて教員採用試験の1次試験にむけて、集団討論や小論文などの試験対策を中心に学内の直前対策講座を開催。参加学生（幼保18名・教員19名）

また、1次合格者に対して、2次試験対策を8コマ実施した。

・全国教員採用模擬試験（東京アカデミー主催）

教員志望者の3年生を対象に、1月から計4回実施。参加学生のべ42名

・全国公務員模試、保育士模試（東京アカデミー主催）

3,4年生を対象に、1月から5月にかけて東京アカデミー主催の模擬試験を実施。参加学生（公務員19名・保育士29名）

III 教員等指導力養成

・教育ボランティア参加者

保・幼・小学校、夏休み学習会、サマーフェスティバル等。参加学生59名

・教育ボランティア省察会

先輩の教員・保育士を交えてグループ懇談会を開催。本学卒業生の現役教員・保育士5名（講師）参加学生55名

(12) 就職対策事業

- | | | |
|--------------------------|------|-----|
| ・ハローワーク・ジョブサポーター就職相談：14回 | 参加学生 | 29名 |
| ・県内合同企業説明会：13会場 | 参加学生 | 67名 |
| ・福祉の職場総合フェア：1会場 | 参加学生 | 22名 |
| ・障がい者福祉説明会：1会場（学内） | 参加学生 | 61名 |
| ・学内模擬面接会：2回実施 | 参加学生 | 44名 |
| ・就職支援セミナー | | |
| 短大2年：4回実施 | 参加学生 | 26名 |
| 大学3年：1回実施 | 参加学生 | 27名 |
| ・就職対策講座（学内） | | |
| 短大2年：7回実施（公務員対策） | 参加学生 | 7名 |

大学4年	: 8回実施	参加学生	17名
・就職ガイダンス	: 1回実施	参加学生	44名
・進路ガイダンス	: 7回実施		
・インターンシップ実習	: 20施設	参加学生	21名

(短大1年15名、四大3年6名)

※受入先：東近江市総務課公文書センター、東近江市能登川博物館、東近江市西堀栄三郎記念館、東近江市教育研究所、大津市公園緑地協会、竜王町役場、株式会社サイエンスネット、共立コンピューター、中島商事、ラブリーシステムイン、ネットヨタ滋賀、山脇製菓、島田家具工芸、京セラ八日市工場、シンコーメタリコン、南彦根動物病院、宮川バネ、近江いちろば会等

※上記以外にスポーツ教育学科3年生がインターンシップに参加

- ・就職ガイドブックの配布：大学3年、短大1年およびその保護者
- ・個人面談、履歴書添削、模擬面接（随時）
- ・求人依頼冊子発送：2,300事業所（一般企業、福祉施設等）
- ・企業訪問
- ・びわ学CNS求人情報配信
- ・企業アンケート：平成27、28年度卒業生の就職先（197事業所）に対して郵送、卒業生の就職先での評価と採用にあたって重視する点を調査
- ・保護者対象「学修指導および進路・就職支援に関する説明会」11月3日（金）

(13) 高大連携

- ・滋賀県立能登川高等学校2年生 高大連携事業8/8(火)、8/22(火)他 受講者19名
- ・滋賀県立水口高等学校2年生 上級学校修学体験事業1/22(月)、1/23(火)受講者13名
- ・平成29年度プレカレッジ(出前授業)
中学校6校(滋賀学園、朝桜、玉園、守山南、彦根西、守山北) 受講者1,171名
高等学校9校(滋賀学園、甲西、玉川、水口、東大津、彦根翔西館、彦根東、日野、甲南) 2,060名
- ・滋賀県立河瀬高等学校 防災マップづくり

(14) 交通・生活安全研修 4/5(金)

(15) 大学祭 11/2(木)～11/3(金)

(16) 人権研修会 11/29(水)

「若者に多い精神疾患と対応～人権・倫理的配慮を踏まえた教育現場の対応を考える～」
講師 滋賀県精神医療センター精神看護専門看護師 福岡 雅津子 氏

(17) FD・SD研修会

SD研修会9/6(水)「SWOT分析について～中長期経営計画作成のための基本ツールとして～」

講師 学校法人滋賀学園監事 公認会計士 森谷 伊三男 氏

FD研修会8/23(水)「アクティブ・ラーニングの導入背景と具体的実践法」

講師 大阪大学 全学教育推進機構講師 家島 明彦 氏

FD研修会2/28(水)「90分でマスター！学生の受講態度が変わる。授業をキャリア教育化する10の秘訣」

講師 大阪大学 全学教育推進機構講師 家島 明彦 氏

(18) 入試説明会 2回 6/13(火) 草津・6/15(木) 彦根

(19) オープンキャンパス (10回) 第8回は入試相談会

第1回	3/20 (祝月)	第2回	6/25 (日)	第3回	7/15 (土)
第4回	7/22 (土)	第5回	8/5 (土)	第6回	8/20 (日)
第7回	9/30 (土)	第8回	11/3 (祝金)	第9回	11/18 (土)
第10回	12/16 (土)	延参加者数813名			

(20) ライフデザイン学科入試

AO入試(A日程) 8/18(金)

AO入試(B日程) 9/9(土)

指定校制推薦入試	10/14(土)
公募制推薦入試(前期)	11/11(土)・11/12(日)
公募制推薦入試(後期)	12/9(土)
自己推薦入試	12/9(土)
一般入試(前期)	1/27(土)・1/28(日)
一般入試(後期)	3/2(金)
社会人入試	11/12(日)・12/9(土)・1/28(日)・3/2(金)
センター試験利用入試	A 日程 1/5(金)～ 1/26(金) B 日程 2/9(金)～ 2/23(金) C 日程 2/27(火)～ 3/12(月)
外国人留学生入試(国内Ⅰ期)	11/12(日)
外国人留学生入試(国内Ⅱ期)	1/28(日)
(21) 教育福祉学部子ども学科入試	
AO 入試(1次)	9/9(土)
AO 入試(2次)	9/10(日)
指定校制推薦入試	10/14(土)
公募制推薦入試(前期)	11/11(土)・11/12(日)
公募制推薦入試(後期)	12/9(土)
自己推薦入試	12/9(土)
一般入試(前期)	1/27(土)・1/28(日)
一般入試(後期)	3/2(金)
社会人入試	11/12(日)・12/9(土)・1/28(日)・3/2(金)
センター試験利用入試	A 日程 1/5(金)～ 1/26(金) B 日程 2/9(金)～ 2/23(金) C 日程 2/27(火)～ 3/12(月)
編入学試験(指定校)	9/9(土)
編入学試験(一般前期)	11/12(日)
編入学試験(一般後期)	1/28(日)
外国人留学生入試(国内Ⅰ期)	11/12(日)
外国人留学生入試(国内Ⅱ期)	1/28(日)
(22) 教育福祉学部スポーツ教育学科入試	
AO 入試(A 日程)	8/18(金)
AO 入試(B 日程)	9/9(土)
スポーツ推薦入試Ⅰ期	9/9(土)
指定校制推薦入試	10/14(土)
公募制推薦入試(前期)	11/11(土)・11/12(日)
スポーツ推薦入試Ⅱ期	11/12(日)
公募制推薦入試(後期)	12/9(土)
自己推薦入試	12/9(土)
一般入試(前期)	1/27(土)・1/28(日)
一般入試(後期)	3/2(金)
社会人入試	11/12(日)・12/9(土)・1/28(日)・3/2(金)
センター試験利用入試	A 日程 1/5(金)～ 1/26(金) B 日程 2/9(金)～ 2/23(金) C 日程 2/27(火)～ 3/12(月)
編入学試験(指定校)	9/9(土)
編入学試験(一般前期)	11/12(日)
編入学試験(一般後期)	1/28(日)

外国人留学生入試(国内Ⅰ期)	11/12(日)
外国人留学生入試(国内Ⅱ期)	1/28(日)

施設・設備の充実

- (1) 本館1F大講義室 照明器具(LED化)・エアコン更新工事
- (2) スポーツ教育棟1Fトレーニングルーム 床改修工事
- (3) 図書館 エアコン更新工事
- (4) 図書館 屋根防水工事
- (5) 新館1F学生ホール 照明器具(LED化)更新工事
- (6) ピエタス館 ピアノ練習室10室カーペット張替工事

〈滋賀学園高等学校〉

1. 教育活動

①教育推進の重点と教育実践の重点

建学の精神を不易の基本理念として、「21世紀型教育」を取り入れた実践を積極的に推進し、次世代を担う優れたリーダーを育成する。

- i. 各分野でたくましく個性豊かに活躍でき、随所に主となる人材の育成
- ii. グローバルな視点に立ち、優れた知力と創造力、高い倫理観を持った人間の育成
- iii. 豊かな心と健全な身体を持ち、家族や友人を愛し、他人の痛みがわかる人間の育成

(1) 真の人間教育

〈真の学力にもとづく優れた進学実績と豊かな人間教育〉

〈外部と連携した21世紀型人材育成教育プログラムの開発と実践〉

〈顧客である生徒や保護者、地域、その他外部から本当に良いと評価される教育〉

* 真の学力と優れた進学実績

生徒が自ら学び、考え、創造する力を養い、確かな学力をつけることで希望の進路実現を果たす。

- ・学内塾（外部講師と連携し、3年間を見通した体系的な学びを整備）
- ・スタディサプリ（到達度テストや学習管理機能を持つオンライン教材の導入）

* 21世紀型人材育成

生徒が自ら考え、行動する力を育むために、企業や大学など外部と連携しながら協働学習プログラムを開発、実践する。

- ・Shiga-Gakuen Future Leadership Program（Ⅱ類総合探究）
- ・クエストエデュケーションプログラム（Ⅰ類総合探究）
- ・海外留学（ニュージーランド）
- ・その他（姉妹提携校との相互交流授業、留学生受け入れ、等）

* ICT環境の整備

校内Wi-Fiを整備し、学びの道具としてICT機器を積極的に活用する。

- ・生徒1人1台のタブレットPC（入学時に購入）
- ・授業はもちろん家庭学習でも使う

* 人間力

知徳体のバランスが取れた人間力を育成する。

- ・豊かな情操、創造力、思いやり、模範意識、責任感を育てる
- ・基本的な躰の徹底（挨拶、清掃、ものを大切に作る心、感謝と譲る精神、小さな親切と善行のすすめ、ルールとマナー、等）

* 社会力

他者と自分、社会と個人について考え、義務をわきまえた正しい勤労観を育てる。

- ・生活指導、クラブや生徒会活動、道徳教育、ボランティア活動等の充実
- ・教育相談やカウンセリングの充実
- ・インクルーシブ教育の推進

(2) 品格ある教職員

＜個として優れ、集団としての卓越した教職員チーム＞

*教職員が常に学び、卓越した教育のため自らを磨き、切磋琢磨する

*良いものから学び、常に改革進歩する組織体

*下記の価値を全員が目標として共有、実践

【滋賀学園の教職員が実践すべき7項目】

- ・建学の精神（建学の精神を深く理解し、実践する）
- ・顧客の声（生徒や保護者、地域など外部の声に耳を傾け、満足と評価を得る）
- ・向上心（教育の質向上にたゆまぬ努力をし、互いに切磋琢磨する）
- ・倫理観と品格（高い倫理観を持ち、何事にも誠意ある対応をする）
- ・情熱（教育に情熱を持ち、明るく前向きで風通しのよい校風づくりに貢献する）
- ・チャレンジ（新しい試みに対し積極的にチャレンジする）
- ・他に学ぶ（他校や他分野の良いところを常に謙虚に学ぶ）

(3) 自由と規律ある学校風土

＜明るく自由、かつ規律ある風土で、公共性と社会的責任を果たす学校＞

*風通しが良く、誠実で明るく、真理に謙虚で、優れたものから学ぶ姿勢

・明るい挨拶

・5S（整理、整頓、清潔、清掃、身だしなみ）の徹底

・自由な中にも礼儀ある雰囲気醸成

*活発な会議や委員会活動で、学校統治（スクールガバナンス）を確立

*安全・危機管理、個人情報保護のさらなる徹底

*父母と教師の会、同窓会の活性化

*地域と密接に関わり、地域からの支持を得る

(4) ブランド力を高める広報活動

＜学校のブランド力を高め、募集定員を確保する情報発信・広報活動＞

*スクールアイデンティティの確立

*日々の活動や行事など、生き活きとした学校生活（生徒の姿）を発信

*学校の特色や実績について、地域や中学生の理解を深める

・オープンスクールや学校説明会の充実

・学校案内等の刷新（ホームページも含めた統一感）

*メディア等を活用したブランド力の向上

②年間行事報告

(1) 入学式	4/7	
(2) 卒業証書授与式	3/1	
(3) 新入生宿泊研修	4/13・4/14	於:アクティブラサ`琵琶（高島市）
(4) 高大連携(同志社大学)	4/26	出張講義①(1,2年Ⅱ類生徒) 於:本校
	5/24	〃 ②
	8/6	オープンキャンパス③ 於:同志社大学
	9/20	出張講義④(1,2年Ⅱ類生徒) 於:本校
	11/8	〃 ⑤
	1/22	〃 ⑥
(5) オープンキャンパス参加	7/下旬～	
(6) 模擬試験等	4/18	実力テスト(全学年全員)

	4/21・22	校外模試(3年進学希望者)
	5/7	校外模試(3年進学希望者)
	5/21	校外模試(3年進学希望者)
	5/28	校外模試(1・2年進学希望者)
	6/3・5	校外模試(1～3年進学希望者)
	7/7・8	校外模試(全学年進学希望者)
	8/13	校外模試(3年進学希望者)
	8/20	校外模試(1・2年進学希望者)
	9/3	校外模試(3年進学希望者)
	9/15・16	校外模試(3年進学希望者)
	10/13・14	校外模試(3年進学希望者)
	10/22	校外模試(3年進学希望者)
	10/29	校外模試(3年進学希望者)
	11/2・4	校外模試(3年進学希望者)
	11/12	校外模試(1・2年進学希望者)
	11/26	校外模試(3年進学希望者)
	1/13・14	大学入試センター試験
	1/28	校外模試(2年進学希望者)
	2/4	校外模試(1・2年進学希望者)
(7)進路ガイダンス	4/15	3年生進路ガイダンス 於:第一体育館
	11/29	2年生進路ガイダンス 於:第一体育館
	2/14	1年生分野別進路説明会
	保護者会(1・2・3年生 7/19・20, 12/21, 22, 3年生 4/16)	
	9/4	センター試験出願説明会
	9/12	びわこ学院大学出願説明会
(8)学校評価	授業公開	毎 10/30, 31, 11/2, 8, 9, 10
	学校評価アンケート	3学期末
	自己評価	10月末・3月末
(9)体育祭(中高合同)	6/16	於:本校
(10)文化祭(中高合同)	9/7・8	於:本校
(11)修学旅行(2年生)	2/13～19	行先:小笠原諸島(父島)
(12)海外留学(3ヶ月)	1/12～4/6	
海外留学(1年)	1/21～12/2	行先:ニュージーランド(高校生、中高一貫生徒)
(13)英語スピーチコンテスト	11/10	ミしがンカップ 於:彦根市
(14)第20回ニュートンカップソフトボール大会	9/30・10/1	(県内外中学生対象)本校主催
(15)各種検定	英語検定(年3回)	6/3, 10/7, 1/20
	漢字検定(年4回)	6/3, 7/14, 10/28, 1/18
	GTEC(1・2年)	12/13
(16)全校携帯電話指導	5/8	於:第一体育館
(17)性教育講習	7/19	於:第一体育館
(18)交通安全・挨拶指導	毎月1回	全職員 於:学校・交差点・自販機付近
(19)人権講習会	7/11, 12/14, 3/14	於:第一体育館・各HR教室
(20)オープンスクール	8/5, 10/21, 11/11, 11/25, 12/2, 12/9	(中学校生徒・保護者対象) 於:本校
(21)オープンナイト	11/17, 11/27, 12/6	(中学校生徒・保護者対象) 於:本校
(22)入試説明会	7/31(中学校教員対象)	於:本校
	9/14(塾対象)	於:ホテルニューオウミ

	12/16(個別相談会)	於:本校
(23) 私学展	8/21(彦根)・8/26, 27(草津)	
(24) 入学試験	2/5, 6	於:本校

2. 施設・設備の充実

- (1) 第1運動場・屋内体育場人工芝敷設工事
- (2) 運動部室更新工事
- (3) 普通教室等プロジェクタースクリーン設置工事

<滋賀学園中学校>

1. 教育活動

①重点目標と具体的実践

(1) 確かな学力・個性を伸ばす教育の充実

子どもたちの「自己発見」「自己探求」「自己決定」を重視した教育を実践し、確かな学力・人間力を育てる。

*少人数教育(国語、数学、英語)、理数教育の充実

*朝読書、中学校塾、各種検定

(2) 子どもたち一人ひとりを大切にす

一人ひとりの持っている力を最大限に伸張することによって、「生きる力」「正義感」「倫理観」「思いやりの心」を育てる。

*生活の基礎基本の習慣化(あいさつ、時間を守る、人の話を聞く、責任を果たす)

*道徳教育の充実

*総合的な学習の活用

*学校行事の充実・活性化

(3) 海外研修や海外留学で、自立した人間を育てる

海外研修や海外留学を通じて、英語が「自由に使いこなせる力」を養い、「自由に使いこなせる英語」を使って「何をするのか」を自ら発見できる子どもを育てる。

*ニュージーランド海外研修(中2・2ヶ月間)

*海外留学(1年間:中3~高1)

*ALTの積極的な活用

(4) 21世紀型人材育成

企業や大学等、外部と連携しながら協働学習プログラムを開発、実践する。

*スタディサプリ(到達度テストや学習管理機能を持つオンライン教材の導入)

*教育と探求社の総合探究教材「QUEST」を導入、総合的な学習とNZ研修+他教科との横断的な取組を試みる

*その他(姉妹提携校との相互交流授業、留学生受け入れ、等)

(5) ICT環境の整備

校内Wi-Fiを整備し、学びの道具としてICT機器を積極的に活用する。

*生徒1人1台のタブレットPC(入学時に購入)

*授業はもちろん家庭学習でも使う

(6) 信頼される学校づくりの推進

保護者との連携を深め、開かれた学校づくりと教師の資質向上に努める。

*保護者会の定例化、学校だよりや学級通信の発行

*施設整備の充実

*地域貢献

(7) インクルーシブ教育の推進

*校内委員会の継続と校内委員会での事例研究、関係諸機関との連携の研修

*生徒一人ひとりを見取る力の育成

*ユニバーサルデザインと合理的配慮の提供の検証を研究授業テーマとして継続

*教育相談の充実、スクールカウンセラーとの連携

(8)学校のブランド力を高め、募集定員を確保する広報

魅力を再構築し、学校の特色や実績について地域や保護者の理解を深める。

*日々の活動や行事など、生き活きとした学校生活（生徒の姿）を発信

*メディア等を活用したブランド力の向上

*オープンスクールや学校説明会の充実、学校案内等の刷新

②年間行事報告

	全 校	1 年	2 年	3 年	入試関係
4 月	入学式・始業式 (7) 健康診断 (11) 新入生歓迎会 (14) スポーツテスト(17) 防災訓練 (24) 保護者会 (28)	新入生テスト (11) 宿泊研修 (12,13) 於) 荒神山自然の家	課題テスト (18) NZ海外研修説明会 (22) 24時間合宿 (28,29) 於) 本校	課題テスト (11) 全国学力学習状況検査 (18)	小学校訪問 塾訪問
5 月	世界一大きな授業 (1) 携帯スマホ指導 (2) 父母と教師の会総会 (13) 校医検診 (25) 中体連春季総体 (18,19)		校外学習:Expo City E.V. (23)	1年留学説明会 (13)	小学校訪問 塾訪問
6 月	1学期中間考査 (1,2) 歯科検診 (5) 校外模擬試験 (6) 中高合同体育祭 (16) NZ海外研修壮行会 (28)		2学期期末考査 (23~27) NZ海外研修壮行会 (28) NZ海外研修出発 (30)		小学校訪問 塾訪問
7 月	薬物防止講演会 (14) 保護者会 (19) 1学期終業式 (20) 中体連夏季総体 (21,22,27,28)	1学期期末考査 (4~6) 家庭訪問 (24~31)		1学期期末考査 (4~6)	小学校訪問 塾訪問
8 月	第2学期始業式 (28) 課題テスト (31)		NZ海外研修中間報告会 (3) NZ海外研修帰国 (27)	1年留学説明会 (26)	オープンスクール (5)
9 月	校外学習 (1) 中高合同文化祭 (7,8)			1年留学説明会 (16)	オープンスクール (30)
10 月	第2学期中間考査 (12,13) 中体連秋季総体 (20) 保護者会 (27)				
11 月	秋桜祭 (11)				オープンスクール (11) オープンスクール (25)
12 月	第2学期期末考査 (5~7) 第2学期終業式 (22) 保護者会 (22)			1年留学説明会 (16)	入試説明会 (2) 入試説明会 (9) 受験相談会 (16)
1 月	第3学期始業式 (9) 百人一首かるた大会 (10) 1年留学壮行会 (18)			1年留学 出発 (20)	A日程入学試験 (13) B日程入学試験 (27)
2 月	保護者会 (17)			私立高校入学試験 1年留学保護者会 (23) 学年末考査 (21~23)	C日程入学試験 (10)
3 月	3年生を送る会 (9) 卒業証書授与式 (10) 修了式 (23) 保護者会 (23)	学年末考査 (2~6)	学年末考査 (2~6)	県立高校入学試験	入学許可予定者オリエンテーション (21)

<びわこ学院大学附属こども園あっぷる>

平成 29 年度 こども園の課題と成果

開園して5年、子ども達は恵まれた自然環境に十分触れ、戸外遊びや運動遊びを通して、満足感や達成感、成就感を味わい、安心して自己を表出しています。豊かな体験活動を通して、心も身体も生き生きと輝く園生活を楽しみ、あるがままの自分自身を捉え自尊感情を着実に育てています。職員全体は、常に子ども達に寄り添うきめ細やかな保育に努め、共通理解のもと保育内容の充実を努めています。また大学の先生方や学生の方々とも十分交流し、附属のこども園としての特色をいかんなく発揮しています。

保育目標

『共に力強く育つ』

びわこ学院大学の附属こども園として、大学の教職員、学生、子ども達、保護者、保育者、地域の方々など、多くの人間関係の中、関わり合うことを大切にしながら、共に学び合うことができる園を目指します。

めざす子どもの姿

- あ … 挨拶 朝ごはん 遊びこむ子ども
- っ … つながりあう 伝え合う 積み重ね合う子ども
- ぷる … 一人ひとりの能力をふるに発揮する子ども

特色ある保育

幼児を対象に、大学附属こども園の特色として大学教員等による4つの教室を通して触れ合い保育を実施しています。子ども達は、毎回意欲的に取り組み、あっぷる運動会やあっぷる発表会でその成果を、胸を張って発表しています。特にチアリーディングは、毎年びわこ学院大学大学祭（紅葉賀祭）のオープニングを飾らせていただいております。また、平成29年12月には、東近江市から第69回人権週間のオープニングセレモニーへの出演依頼があり、チアリーディングと合唱を披露し多くの方々から賞賛の声をいただきました。

○ゴーゴーチア

アップテンポの楽しい曲に合わせて身体を動かし、リズム感を育て、体幹を鍛えています。みんなで心ひとつにしてコール（掛け声）をしたり、難しい技やスタンツ（組体操）にも挑戦した。

○音の玉手箱

リトミックでいろいろな音遊びを楽しみ、音感を鍛えています。音の楽しさ、美しさを十分味わい豊かな心を育てている。

○キッズイグリッシュ

英語を身近なものに感じ、親しむため、音楽やお話、ゲームを英語で親しんでいます。あっぷる発表会では、英語での自己紹介も行った。

○レッツパソコン

タブレットやパソコンを使って、ICTを身近なものとしてとらえています。パネルをタッチしたり、キーボードを操作して絵を描いたり、ひらがな遊びや音遊びを楽しんでいます。

年齢別の課題と成果

1歳児

子ども達自身の情緒や体調に配慮し、その様子に適した環境の中で安心して無理なく過ごすことを第一に考えた。常に同じ保育者が関わることで子ども達に安心感を与え、

保育者が子ども自身の言いたいことを言葉で返し、言葉で伝えることにより、安心して自分の気持ちを表すことができ、周りを意識できるようになり、いろいろなことに対して、クラス全員の関わりが見られるようになった。

2 歳児

子ども達一人ひとりの発達に大きな個人差があったが、個々の発達段階をしっかりと把握し、目の前の課題に惑わされることなく、長期目標達成のため今何をすべきかを考えるよう努めた。子ども達の気持ちをしっかり受け止め、意欲を損なわないようにさりげなく援助することにより、子ども達自身の成就感を育て、友達と一緒に遊べるようになった。

3 歳児

子ども達との信頼関係構築を第一に考え、基本的な生活習慣（食事や排せつ、着脱）を中心に身の回りのことが自分でできるよう援助してきた。最初は「手伝って」と訴えることもあったが、しだいに自信を持って自分でする姿が見られるようになった。そんな子ども達の姿を十分認めることにより、自分自身だけのことではなく、友達と触れ合う楽しさを知ることにもつながってきたように感じる。

4 歳児

並行遊びから友達と関わって遊ぶことの楽しさを感じていく過程で、少人数での関わりやクラス全体での集団遊びなど、子ども達の姿に合わせて保育する一年であった。その中で生じた様々なぶつかり合いの中で、自分の力だけでは補えないこともあったが、保育者とスキンシップをとりながら安心感を持たせ、友達皆との遊びに気持ちが向くように援助したことにより、しだいにクラスとしてのまとまりが生まれてきた。

5 歳児

子ども達一人ひとりの力を十分に発揮し、できることを増やして自信に繋げていくこと、友達とぶつかり合いながら思いを伝え協力したり励ましたりし、仲間や友達っていいなあという気持ちが芽生えていくことを大切にしたい。たくさん遊びや行事の中で、子ども達は心身ともに成長していった。年長組だからこそ、経験しなければならないこと、学ばねばならないことができ、自分で考え工夫するという姿勢が育った。

保護者との連携

発達年齢の特性を十分に踏まえて、子ども一人ひとりの成長の見通しを持ちながら、保護者の保育に対する関心や希望を受けとめることに努め、年2回の定例の個別懇談時だけでなく、送迎時においても、育児の悩みや子どもの話を気軽に話せるよう、信頼関係を築き、コミュニケーションをとることを大切にしている。また、幼児期に身につけておくべき心情、意欲、態度を、豊かな体験活動を通して養うことを重要視したことによって、保護者からの信頼も厚くなったと確信している。

子育て支援

子育て相談 … 子どもの見方や接し方をともに考えることを目的に、随時行った。

あっぷる広場 … 年6回「親子触れ合い遊びをしよう」「新聞遊びをしよう」「園児と一緒に触れ合って遊ぼう」「運動会に親子で参加しよう」「絵本の読み取りやエプロンシアターを楽しもう」「子育て講演会」とテーマを決め、未就園児を対象に親子体験活動など、親と子が大勢の人と触れあえることを願って実施した。

1 園児数

左：男子 右：女子

学級名 (年齢)	区分	年齢別園児数				学級別園児数			
		4 月		3 月		4 月		3 月	
あつぷる1組	(0歳児)	2		3		1 1		1 3	
	(1歳児)	2	1	2	1	7	4	9	4
あつぷる2組	(2歳児)	9		1 0		7 4		9 4	
	(3歳児)	5	4	7	3	6	5	6	5
あつぷる3組	(4歳児)	1 1		1 1		1 1		1 1	
	(5歳児)	6	5	6	5	6	5	6	5
あつぷる4組	(3歳児)	2 0		1 9		2 0		1 9	
	(4歳児)	9	1 1	8	1 1	9	1 1	8	1 1
あつぷる5組	(4歳児)	2 4		2 3		2 4		2 3	
	(5歳児)	1 5	9	1 5	8	1 5	9	1 5	8
あつぷる5組	(5歳児)	2 3		2 3		2 3		2 3	
	(5歳児)	1 0	1 3	1 0	1 3	1 0	1 3	1 0	1 3
園児数合計		8 9		8 9		8 9		8 9	
		4 7	4 2	4 8	4 1	4 7	4 2	4 8	4 1

(内幼稚園児数)

左：男子 右：女子

学級名 (年齢)	区分	年齢別園児数			
		4 月		3 月	
あつぷる3組	(3歳児)	7		7	
	(3歳児)	2	5	2	5
あつぷる4組	(4歳児)	1 0		9	
	(4歳児)	6	4	6	3
あつぷる5組	(5歳児)	5		6	
	(5歳児)	2	3	4	2
園児数合計		2 2		2 2	
		1 0	1 2	1 1	1 1

・幼稚園児 22名
 ・保育園児 67名
 ・合計 89名

2 職員数

- ・常勤（園長、副園長、主幹保育教諭、副主任、研修主任他保育教諭） 17名
 - ・事務 2名
 - ・学生アルバイト 5名
- 計 24名

II 施設等の状況

(1) 現有施設設備の所在地等の説明

(平成30年3月31日現在)

学 校	所 在 地	種別	面 積
びわこ学院大学 びわこ学院大学短期大学部	滋賀県東近江市布施町	土地(自己所有)	20,103.59 ^{m²}
		土地(借用)	11,464.38 ^{m²}
	滋賀県東近江市布引台1丁目 滋賀県東近江市蛇溝町	建物(自己所有)	8,322.30 ^{m²}
滋賀学園高等学校	滋賀県東近江市建部北町	土地(自己所有)	13,621.99 ^{m²}
		土地(借用)	20,322.04 ^{m²}
		建物(自己所有)	8,871.44 ^{m²}
	滋賀県東近江市川合寺町	土地(借用)	9,953.00 ^{m²}
		建物(自己所有)	648.00 ^{m²}
滋賀学園中学校	滋賀県東近江市建部北町	土地(自己所有)	1,817.33 ^{m²}
		建物(自己所有)	2,930.48 ^{m²}
びわこ学院大学 附属こども園あっぷる	滋賀県東近江市布引台1丁目 滋賀県東近江市布施町 滋賀県東近江市今堀町	土地(自己所有)	4,974.20 ^{m²}
		建物(自己所有)	893.37 ^{m²}
計		土地(自己所有)	40,517.11 ^{m²}
		土地(借用)	41,739.42 ^{m²}
		建物(自己所有)	21,665.59 ^{m²}

4 財務の概要

1 決算の概要

①事業活動収支計算書の状況

事業活動収支計算書は、収支を経常的なもの(「教育活動」と「教育活動外」と)と臨時的なもの(「特別収支」)に区分するものとし、経常的・臨時的それぞれの収支状況を把握することができるようになっています。また、毎期の収支バランスを見るのに適した基本金組入前の収支差額(従来の帰属収支差額)も計算書上に表示することになっています。

教育活動収支は、経常的な事業活動収支のうち、本業である教育活動の収支です。教育活動収入は1,627,086千円で、予算比23,589千円の増となり、教育活動支出は予算比12,181千円増の1,542,534千円となりましたので、教育活動収支差額は84,552千円の収入超過となりました。

教育活動外収支は、経常的な財務活動に係る事業収入及び事業活動支出をいいます。教育活動外収入は受取利息・配当金のみで254千円となり、教育活動外支出は借入金利息のみで6,812千円となりましたので、教育活動外収支差額は6,558千円の支出超過となりました。

教育活動収支と教育活動外収支の合計を経常収支といい、77,994千円の収入超過でした。

特別収支とは、臨時的な事業活動収入及び事業活動支出をいいます。特別収入は、施設設備寄付金等で8,582千円となり、特別支出は、0千円でしたので、特別収支差額は8,582千円の収入超過となりました。

以上の結果、基本金組入前当年度収支差額はプラス86,576千円となり、事業活動収支差額比率はプラス5.3%となりました。

■教育活動収支 (単位：千円)				■特別収支 (単位：千円)			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部				事業活動収入の部			
学生生徒等納付金	1,046,388	1,043,630	2,758	資産売却差額	0	0	0
手数料	27,536	27,121	415	その他の特別収入	8,069	8,582	△513
寄付金	33,000	33,100	△100	特別収入計	8,069	8,582	△513
経常費等補助金	425,595	439,092	△13,497	事業活動支出の部			
付随事業収入	36,856	40,906	△4,050	資産処分差額	0	0	△0
雑収入	34,122	43,238	△9,116	その他の特別支出	0	0	0
教育活動収入計	1,603,497	1,627,086	△23,589	特別支出計	0	0	△0
事業活動支出の部				特別収支差額			
人件費	903,563	896,523	7,040		8,069	8,582	△513
教育研究経費	416,135	428,449	△12,314				
管理経費	210,655	217,562	△6,907	[予備費]	(20,000)		
徴収不能額等	0	0	0		0		0
教育活動支出計	1,530,353	1,542,534	△12,181	基本金組入前当年度収支差額	74,931	86,576	△11,645
教育活動収支差額	73,144	84,552	△11,408	基本金組入額合計	△89,882	△130,274	40,392
■教育活動外収支 (単位：千円)				当年度収支差額			
科 目	予 算	決 算	差 異	前年度繰越収支差額	△3,054,953	△3,054,953	0
事業活動収入の部				翌年度繰越収支差額			
受取利息・配当金	269	254	15	(参考)			
その他の教育活動外収入	0	0	0	事業活動収入計	1,611,835	1,635,922	△24,087
教育活動外収入計	269	254	15	事業活動支出計	1,536,904	1,549,346	△12,442
事業活動支出の部				経常収支差額			
借入金等利息	6,551	6,812	△261		66,862	77,994	△11,132
その他教育活動外支出	0	0	0				
教育活動外支出計	6,551	6,812	△261				
教育活動外収支差額	△6,282	△6,558	276				

*千円未満四捨五入

②資金収支計算書の状況

資金収支計算書とは、当該会計年度の諸活動に対する全ての収入・支出内容を明らかにし、かつ支払資金（現金及びいつでも引き出すことができる預貯金）の収入・支出の顛末を明らかにするものです。

平成 29 年度の資金収入は合計 2,515,865 千円となり予算比 46,681 千円の増となりました。資金支出は、当該年度の教育研究活動およびその他活動に対する支出であり、借入金返済支出や施設設備関係支出などを含んでいます。今年度は、翌年度繰越支払資金が予算比 24,843 千円増の 401,934 千円となりました。

■収入の部 (単位：千円)				■支出の部 (単位：千円)			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,046,388	1,043,630	2,758	人件費支出	890,128	883,078	7,050
手数料収入	27,536	27,121	415	教育研究経費支出	302,221	313,697	△11,476
寄付金収入	41,069	41,682	△613	管理経費支出	187,215	194,973	△7,758
補助金収入	425,595	439,092	△13,497	借入金等利息支出	6,551	6,812	△261
資産売却収入	0	0	0	借入金等返済支出	107,178	107,178	0
付随事業・収益事業収入	36,856	40,906	△4,050	施設関係支出	62,157	61,077	1,080
受取利息・配当金収入	269	254	15	設備関係支出	42,433	41,964	469
雑収入	32,773	33,512	△739	資産運用支出	0	0	0
借入金等収入	50,000	50,000	0	その他の支出	544,190	574,928	△30,738
前受金収入	193,060	191,540	1,520	[予備費]	(20,000)		
その他の収入	526,744	563,302	△36,558		0		0
資金収入調整勘定	△253,804	△257,871	4,067	資金支出調整勘定	△49,980	△69,776	19,796
前年度繰越支払資金	342,698	342,698	0	翌年度繰越支払資金	377,091	401,934	△24,843
収入の部合計	2,469,184	2,515,865	△46,681	支出の部合計	2,469,184	2,515,865	△46,681

*千円未満四捨五入

③活動区分資金収支計算書の状況

活動区分資金収支計算書は、資金収支計算書を「教育活動」「施設整備等活動」「その他の活動」の区分に分け、活動ごとの資金の流れを明確化することを目的に作成したものです。一般企業や公益法人のキャッシュ・フロー計算書に近い計算書です。

教育活動による資金収支は 218,814 千円のプラス、施設整備等活動による資金収支は 95,738 千円のマイナス、その他の活動による資金収支は 63,840 千円のマイナスとなりました。

■教育活動による資金収支 (単位：千円)		■施設整備等活動による資金収支 (単位：千円)		■その他の活動による資金収支 (単位：千円)	
科 目	金 額	科 目	金 額	科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	1,043,630	施設設備寄付金収入	8,582	借入金等収入	50,000
手数料収入	27,121	施設整備等活動資金収入計	8,582	仮払金回収収入	4,082
特別寄付金収入	100	施設関係支出	61,077	預り金受入収入	387,803
一般寄付金収入	33,000	設備関係支出	41,964	修学旅行費預り金収入	54,606
経常費等補助金収入	439,092	施設整備等活動資金支出計	103,041	前期末修学旅行費預り資産収入	28,335
付随事業収入	40,906	差引	△94,458	小計	524,826
雑収入	33,512	調整勘定等	△1,279	受取利息・配当金収入	254
教育活動資金収入計	1,617,360	施設整備等活動資金収支差額	△95,738	その他の活動資金収入計	525,080
人件費支出	883,078			借入金等返済支出	107,178
教育研究経費支出	313,697	小計(教育活動資金収支差額+		預り金支払支出	387,907
管理経費支出	194,973	施設整備等活動資金収支差額)	123,076	仮払金支払支出	4,082
教育活動資金支出計	1,391,749			修学旅行費預り金支払支出	59,903
差引	225,611			修学旅行費預り資産支払支出	23,037
調整勘定等	△6,798			小計	582,108
教育活動資金収支差額	218,814			借入金等利息支出	6,812
				その他の活動資金支出計	588,919
				差引	△63,840
				調整勘定等	0
				その他の活動資金収支差額	△63,840

*千円未満四捨五入

④貸借対照表の状況

貸借対照表は、年度末における財政状態の健全性と学校運営に必要な資産の保有状況や負債状況について表したものです。資産は学校法人に投下された資金がどのように使われているかを表しており、負債及び自己資金は資産が他人の資金(負債)によって賄われているか、自己資金によって賄われているかを示しています。

平成29年度末の総資産は3,349,847千円であり、前年度末に比べ4,224千円減少しました。その主な要因は建物等の減価償却によるものです。その結果、有形固定資産の構成比率は80.1%、流動資産の構成比率は14.6%となりました。一方、負債の部合計は879,863千円で、前年度末より9,080千円減少しました。その主な要因は長期借入金や未払金の減少によるものです。

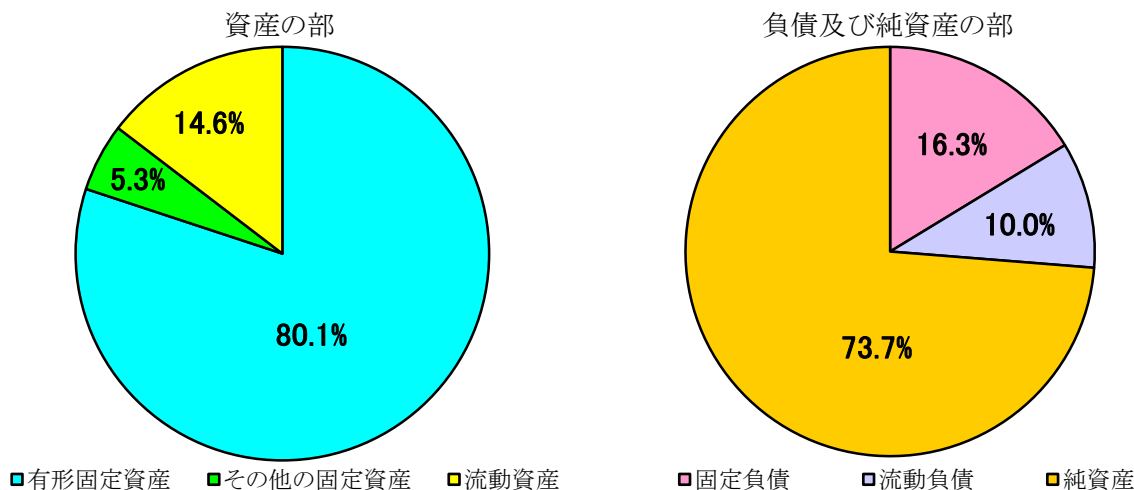
資産の部合計から負債の部合計を差し引いた純資産(正味財産)は2,469,984千円となり、前年度に比べ86,576千円の増加となりました。

基本金は130,274千円を組入した結果、5,568,635千円となりました。

■資産の部 (単位:千円)				■負債の部 (単位:千円)			
科 目	本年度末	前年度末	増 減	科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	2,860,262	2,894,562	△34,300	固定負債	546,061	582,016	△35,955
有形固定資産	2,682,021	2,714,323	△32,302	流動負債	333,802	388,647	△54,845
特定資産	0	0	0	負債の部合計	879,863	970,663	△90,800
その他の固定資産	178,241	180,240	△1,998				
流動資産	489,585	459,509	30,076	■純資産の部 (単位:千円)			
資産の部合計	3,349,847	3,354,071	△4,224	科 目	本年度末	前年度末	増 減
				基本金	5,568,635	5,438,361	130,274
				第1号基本金	5,467,635	5,337,361	130,274
				第4号基本金	101,000	101,000	0
				繰越収支差額	△3,098,651	△3,054,953	△43,698
				翌年度繰越収支差額	△3,098,651	△3,054,953	△43,698
				純資産の部合計	2,469,984	2,383,408	86,576
				負債及び純資産の部合計	3,349,847	3,354,071	△4,224

*千円未満四捨五入

貸借対照表の構成



2 経年比較

①収支計算書

ア) 事業活動収支計算書(平成26年度以前は消費収支計算書)

(単位：千円)			(単位：千円)			
消費収入の部	平成25年度	平成26年度	教育活動収支	平成27年度	平成28年度	平成29年度
学生生徒納付金	793,273	819,980	事業活動収入の部			
手数料	25,963	24,849	学生生徒等納付金	908,373	978,264	1,043,630
寄付金	9,958	22,746	手数料	24,982	28,406	27,121
補助金	361,139	356,607	寄付金	100	0	33,100
資産運用収入	1,871	3,671	経常費等補助金	397,337	457,043	439,092
資産売却差額	0	0	付随事業収入	75,794	69,812	40,906
事業収入	90,050	97,360	雑収入	14,220	81,775	43,238
雑収入	23,932	36,225	教育活動収入計	1,420,806	1,615,300	1,627,086
帰属収入合計	1,306,187	1,361,438	事業活動支出の部			
基本金組入額合計	△77,400	△69,693	人件費	861,408	923,748	896,523
消費収入の部合計	1,228,788	1,291,745	教育研究経費	396,201	406,619	428,449
			管理経費	210,036	207,697	217,562
			徴収不能額等	0	0	0
			教育活動支出計	1,467,645	1,538,065	1,542,534
			教育活動収支差額	△46,839	77,235	84,552
			教育活動外収支	平成27年度	平成28年度	平成29年度
			事業活動収入の部			
			受取利息・配当金	256	294	254
			その他の教育活動外収入	0	0	0
			教育活動外収入計	256	294	254
			事業活動支出の部			
			借入金等利息	9,528	8,048	6,812
			その他教育活動外支出	0	0	0
			教育活動外支出計	9,528	8,048	6,812
			教育活動外収支差額	△9,271	△7,753	△6,558
			経常収支差額	△56,110	69,482	77,994
			特別収支	平成27年度	平成28年度	平成29年度
			事業活動収入の部			
			資産売却差額	0	0	0
			その他の特別収入	3,496	1,314	8,582
			特別収入計	3,496	1,314	8,582
			事業活動支出の部			
			資産処分差額	0	86	0
			その他の特別支出	254	0	0
			特別支出計	254	86	0
			特別収支差額	3,242	1,228	8,582
			基本金組入前当年度収支差額	△52,869	70,710	86,576
			基本金組入額合計	△137,073	△77,301	△130,274
			当年度収支差額	△189,941	△6,592	△43,698
			前年度繰越収支差額	△2,858,420	△3,048,362	△3,054,953
			翌年度繰越収支差額	△3,048,362	△3,054,953	△3,098,651
			(参考)			
			事業活動収入計	1,424,558	1,616,908	1,635,922
			事業活動支出計	1,477,426	1,546,198	1,549,346

*千円未満四捨五入

イ) 資金収支計算書

(単位：千円)			(単位：千円)			
収入の部	平成25年度	平成26年度	収入の部	平成27年度	平成28年度	平成29年度
学生生徒納付金収入	793,273	819,980	学生生徒納付金収入	908,373	978,264	1,043,630
手数料収入	25,963	24,849	手数料収入	24,982	28,406	27,121
寄付金収入	2,621	22,746	寄付金収入	1,273	1,314	41,682
補助金収入	361,139	356,607	補助金収入	397,337	457,043	439,092
資産運用収入	1,871	3,671	資産売却収入	0	0	0
資産売却収入	0	0	付随事業・収益事業収入	75,794	69,812	40,906
事業収入	90,050	97,360	受取利息・配当金収入	256	294	254
雑収入	13,057	30,412	雑収入	14,197	73,122	33,512
借入金等収入	80,000	199,000	借入金等収入	285,000	80,000	50,000
前受金収入	161,971	168,720	前受金収入	182,421	193,258	191,540
その他の収入	482,913	402,156	その他の収入	408,376	521,166	563,302
資金収入調整勘定	△184,725	△209,212	資金収入調整勘定	△199,395	△270,898	△257,871
前年度繰越支払資金	222,813	329,729	前年度繰越支払資金	264,467	242,176	342,698
収入の部合計	2,050,946	2,246,018	収入の部合計	2,363,081	2,373,956	2,515,865

(単位：千円)			(単位：千円)			
支出の部	平成25年度	平成26年度	支出の部	平成27年度	平成28年度	平成29年度
人件費支出	792,114	860,624	人件費支出	857,414	928,584	883,078
教育研究経費支出	230,503	252,049	教育研究経費支出	285,230	290,027	313,697
管理経費支出	189,378	202,071	管理経費支出	189,305	185,563	194,973
借入金等利息支出	10,230	10,077	借入金等利息支出	9,528	8,048	6,812
借入金等返済支出	117,856	130,852	借入金等返済支出	296,516	139,708	107,178
施設関係支出	83,313	119,778	施設関係支出	62,202	11,179	61,077
設備関係支出	21,850	65,583	設備関係支出	39,406	28,757	41,964
資産運用支出	0	0	資産運用支出	0	0	0
その他の支出	352,490	414,226	その他の支出	413,400	534,605	574,928
資金支出調整勘定	△76,517	△73,709	資金支出調整勘定	△32,095	△95,212	△69,776
次年度繰越支払資金	329,729	264,467	翌年度繰越支払資金	242,176	342,698	401,934
支出の部合計	2,050,946	2,246,018	支出の部合計	2,363,081	2,373,956	2,515,865

*千円未満四捨五入

② 貸借対照表

(単位：千円)			(単位：千円)			
科 目	平成25年度末	平成26年度末	科 目	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末
固定資産	2,957,544	3,022,423	固定資産	2,993,439	2,894,562	2,860,262
流動資産	388,127	336,030	流動資産	294,420	459,509	489,585
資産の部合計	3,345,670	3,358,452	資産の部合計	3,287,859	3,354,071	3,349,847
固定負債	595,484	693,357	固定負債	657,844	582,016	546,061
流動負債	288,504	299,528	流動負債	317,316	388,647	333,802
負債の部合計	883,988	992,886	負債の部合計	975,161	970,663	879,863
基本金の部合計	5,154,294	5,223,987	基本金	5,361,060	5,438,361	5,568,635
消費収支差額の部合計	△2,692,612	△2,858,420	繰越収支差額	△3,048,362	△3,054,953	△3,098,651
			純資産の部合計	2,312,698	2,383,408	2,469,984
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	3,345,670	3,358,452	負債及び純資産の部合計	3,287,859	3,354,071	3,349,847

*千円未満四捨五入

3 計算書類の科目説明

資金収支計算書の科目

収入/支出	科目名	内 容
収入	学生生徒等納付金収入	在学条件として義務的に、また一律に納付すべきもので、具体的には授業料、入学金、実験実習料、施設設備資金等があります。
	手数料収入	入学試験、追試験、証明書等のために徴収する手数料です。
	寄付金収入	寄贈者より贈与を受けた金銭その他の資産であり、補助金収入と異なるものです。
	補助金収入	国または地方公共団体、日本私立学校振興・共済事業団及びこれに準ずる団体からの助成金です。
	資産売却収入	帳簿価格のある固定資産を売却した場合の収入です。
	付随事業・収益事業収入	補助活動、附属事業、受託事業、収益事業等からの収入です。
	受取利息・配当金収入	預金の利息や、貸付金等の利息等の収入です。
	雑収入	施設設備利用料、廃品売却、退職金団体交付金等の収入です。
	借入金等収入	資金調達のために金融機関等から借入した収入です。
前受金収入	当年度において、翌年度の諸活動に対応する資金を収入したものです。	
その他の収入	学生生徒納付金収入から前受金収入までの各収入科目に含まれない収入です。	
資金収入調整勘定	当年度の諸活動に対する収入で、前年度以前に資金の収入になったもの、及び当年度の諸活動に対する収入で、翌年度以降に資金が受け入れられるものです。	
前年度繰越支払資金	前年度末時点の現金預金残高を示します。	
支出	人件費支出	給与、共済組合掛金、労働保険料、退職金団体掛金等があります。
	教育研究経費支出	教育研究のために要する経費です。
	管理経費支出	教育研究経費以外の経費です。
	借入金等利息支出	借入金等の利息です。
	借入金等返済支出	借入金等の元本返済です。
	施設関係支出	土地、建物、構築物等の支出です。
	設備関係支出	教育研究用機器備品、管理用機器備品、図書、車両等の支出です。
	資産運用支出	有価証券購入、特定資産への繰入支出等です。
	その他の支出	人件費支出から資産運用支出までの各科目に含まれない支出です。
資金支出調整勘定	当年度の諸活動に対する支出で、前年度以前に資金の支出になったもの、及び当年度の諸活動に対する支出で、翌年度以降に資金の支出となるべきものです。	
翌年度繰越支払資金	当年度末時点の現金預金残高を示します。	

事業活動収支計算書の科目

収入/支出	科目名	内 容
収入	学生生徒等納付金	在学条件として義務的に、また一律に納付すべきものです。具体的には授業料、入学金、実験実習料、施設設備資金等があります。
	手数料	入学試験、追試験、証明書等のために徴収する手数料です。
	寄付金	施設設備に係るもの以外の寄付金、現物寄附です。
	経常費等補助金	施設設備に係るもの以外の経常費等補助金です。
	付随事業収入	補助活動、附属事業、受託事業からの収入です。
	雑収入	施設設備利用料、廃品売却、退職金団体交付金等の収入等です。
	受取利息・配当金	預金の利息や、貸付金等の利息等の収入です。
	その他の教育活動外収入	収益事業収入等です。
	資産売却差額	不動産等を売却し、その代価が帳簿残高を上まわった場合、その差額、除却差額等をいいます。
その他の特別収入	施設設備に係る寄付金、現物寄附、経常費等補助金、過年度修正額等です。	

支出	人件費	給与、共済組合掛金、労働保険料、退職金団体掛金等があります。
	教育研究経費 管理経費 徴収不能額等 借入金等利息 その他の教育活動外支出 資産処分差額 その他の特別支出	教育研究のために要する経費です。 教育研究経費以外の経費です。 金銭債権が徴収不能になった時の支出です。 借入金等の利息です。 教育活動支出、特別支出以外のものです。 不動産等を売却し、その代価が帳簿残高を下まわった場合、その差額、除却差額等をいいます。 災害損失、過年度修正額等です。

科目名	内容
教育活動収支差額	学校法人の経常的収支の差額です。
教育活動外収支差額	学校法人の経常的収支で教育活動収支以外の差額です。
経常収支差額	教育活動収支差額－教育活動外収支差額です。
特別収支差額	学校法人の臨時的収支の差額です。
予備費	予算に組み込まれていない支出をあてるものです。
基本金組入額合計	教育に必要な固定資産の取得価額等です。
当年度収支差額	基本金組入前当年度収支差額－基本金組入額合計です。
前年度繰越収支差額	前年度からの収支差額です。
基本金取崩額	教育に必要な固定資産が不必要になった場合等です。
翌年度繰越収支差額	前年度繰越収支差額＋当年度収支差額です。
事業活動収入計	学生生徒等納付金等の自己資金に該当するものです。
事業活動支出計	学校を運営していくための諸費用です。

貸借対照表の科目

資産/負債/ 純資産	科目名	内容
固定資産	有形固定資産	貸借対照日後1年を越えて使用する資産、少額重要資産(机・椅子等)です。
	特定資産	学校法人の意思によって将来の特定の支出に備えて資金を留保した科目(退職給与引当特定資産、施設設備積立資金等)です。
	その他の固定資産	ソフトウェア、有価証券、収益事業元入金、長期貸付金等です。
流動資産		現金預金、未収入金、立替金等です。
固定負債		その期限が貸借対照表日後1年を越えて到来するもの(長期借入金、退職給与引当金、長期未払金等)です。
流動負債		その期限が貸借対照表日後1年以内に到来するもの(短期借入金、未払金、預り金等)です。
基本金		学校法人が諸活動の計画に基づき、教育研究の維持・充実を継続的に保持するための金額(第1号基本金から第4号基本金)です。
繰越収支差額		翌年度繰越収支差額(事業活動収支計算書の翌年度繰越収支差額と同額になる)です。

4 主な財務比率比較

(単位：%)

比率名 ()は平成26年度以前	算式	評価	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度
事業活動収支差額比率 (帰属収支差額比率)	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	△	△5.6	△7.1	△3.7	4.4	5.3
基本金組入後収支比率 (消費収支比率)	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}-\text{基本金組入額}}$	▼	112.2	112.8	114.8	100.4	102.9
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	～	60.7	60.2	63.9	60.6	64.1
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	▼	61.9	64.1	60.6	57.2	55.1
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	△	27.6	26.4	27.9	25.2	26.3
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	▼	15.3	15.8	14.8	12.9	13.4
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	△	134.5	112.2	92.8	118.2	146.7
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	▼	35.9	42.0	42.2	40.7	35.6
純資産構成比率 (自己資金構成比率)	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債}+\text{純資産}}$	△	73.6	70.4	70.3	71.1	73.7
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	△	96.2	94.5	95.3	96.0	96.6
教育活動資金収支差額比率	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	△			7.6	13.0	13.5

※ 経常収入 = 教育活動収入計+教育活動外収入計

※ 基本金要組入額 = 基本金+基本金未組入額

※ 評価欄は「今日の私学財政」(日本私立学校・共済事業団)による評価

△:高い値が良い ▼:低い値が良い ～:どちらともいえない